

国際地域研究入門（2年次前期）

[科目の趣旨]

外国(異文化)研究としての地域研究(area study)の課題と方法について講義する。

地域言語(話す)・地域知識(知る)・地域作業(感じる)という三つの機能について解説し、地域研究の学際的総合的な方法の特質について論じる。

学生のコース選択の指針となるとともに、国際地域研究コース選択の学生にコース全体を鳥瞰させること、さらに、AUAPから帰国した学生たちに異文化体験の論理的な追体験を促すことを目指している。

[授業の内容]

本講義は、国際地域研究コース志望の学生のみを対象とするものではなく、国際関係コース、国際協力コース志望の学生にとっても不可欠な方法・知識を提供することを目指している。

本講義でいう「地域研究」(エリア・スタディ)とは「外国研究」(foreign study)のことである。外国は「異文化」の社会であるので、地域研究は「異文化研究」の学問である。本講義はその方法を論じようとするものである。

地域研究は国際関係研究の必須の部分である。地域研究は国際関係論と相互補完的で、密接な関係にある。国際体系の全体ないし国際体系の構成要素間の関係を分析するのが国際関係論であるとするれば、地域研究は国際体系の構成要素そのものを研究対象とする。

また、*Think globally, act locally*(地球規模で考え、足元から行動を)という言葉に即していえば、地域研究は「グローバル」な問題を「ローカル」な場で、具体的、かつ、生き生きと捉えようとするものである。国際協力も国際交流も、異文化の担い手である相手を知らなければ、「絵に描いた餅」に終わってしまう。

地域研究の特徴は、対象とする異文化の社会を、政治、経済、社会、文化、歴史など、必要に応じて複数の角度から複眼的に捉えようとする点にある。異文化の社会の現実をありのままに、しかも、内在的に(異文化の担い手の立場に身を置いてみて)理解しようとするのである。

地域研究は社会科学(政治学、経済学、社会学、文化人類学など)を中心とする多くの学問の方法や考え方を総合的に利用する「学際的」(インター・ディシプリナリー)な学問である。なお、本講義の担当者は2・3・4年次に「観光」研究のゼミを開講しているが、いずれも学際的研究という点で共通している。

本講義では「異文化」の社会である「外国」を総合的に研究することの意味、および、研究の仕方について説明をし、外国語を学ぶだけではなく、その言語の背景となる歴史、文化、社会、経済、政治をあわせ学ぶことの重要性を指摘する。地域研究は「異文化」の社会を「総合的」に理解しようとするものであるので、「異文化研究としての地域研究」、「学際的総合研究としての地域研究」を二本の柱としながら、地域研究の三つの機能「話す」(地域言語)・「知る」(地域知識)・「感じる」(地域作業)について順序だてて、詳しく説明していく。

[授業方法]

パワーポイントを用い、必要に応じてDVDなども使って講義を行う。講義内容はプリントアウトして事前に配布するので、予習・復習が容易である。

[授業計画]

1. 導入～シラバス解説。地域研究と国際理解
2. 地域研究概説～地域言語・地域知識・地域作業
3. 文化・異文化～民族、国民国家、多文化主義
4. グローバル化と地域研究の研究対象レベル
5. 自文化中心主義と文化摩擦
6. 自文化中心主義と文化摩擦
7. 文化相対主義
8. 地域作業(1)～フィールドワークの理論と方法(1)
9. 地域作業(2)～フィールドワークの理論と方法(2)
10. 地域知識(1)～社会科学の専門分化

11. 地域知識(2)～専門分化主義と学際的総合化
12. 地域知識(3)～地域研究とは何か
13. 地域知識(4)～地域研究の特質・進め方・目的

[成績評価の方法]

試験期間中の試験(持ち込み不可のペーパーテスト)で評価をする(入門科目であるので、授業内容をどの程度理解しているかをテストする)。授業回数の3分の2以上出席することが最低限の条件で、特別な理由なくこれを満たさない者は単位を認定しない。

[教科書・指定図書]

教科書: 毎回配布する「講義録」が教科書である。

指定図書:

河部利夫『外国学ことはじめ』(玉川大学出版部)、

関本照夫「文化の違いを見る目の違い」(『異文化への理解』、東京大学出版会)、

佐藤郁也『フィールドワーク』(新曜社)、

大塚久雄「社会科学を学ぶことに意義について」(『大塚久雄著作集』第12巻、岩波書店)、

近藤裕『カルチュアショックの心理～異文化とつきあうために』(創元社)。

[履修上の注意] 全回出席を目指すこと。

*このホームページ上の「国際地域研究入門」(パワーポイント版)を参照してほしい。

[講義内容「国際地域研究入門」\(平成17年度版\)](#)